

本時のねらい

- ・学習したことをもとに、これからの工業の発展について考えようとしている。
- ・資料から必要な情報を読み取り、自分の考えに生かすことができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイロノートのシンキングツール（Xチャート・クラゲチャート）を使って考えることで、自分の考えが整理でき、明確になることをねらいとした。
- ・考えを記入したカードを提出箱に提出し、共有することで、他の児童の考えと自分の考えを比較しながら交流でき、より自分の考えを深めるための手だてとすることをねらいとした。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・授業支援ソフト（ロイロノート）
- ・検索エンジン（Yahoo!きっず）
- ・大型モニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○学習課題をつかみ、学習の流れを確認する。 「これからの工業生産に大切なことを考えよう」	
展開 (28分)	○「これからの工業生産に大切なこと」を5つの項目から一つ選ぶ。 「製品づくりの資源を確保すること」、「外国に負けない工業生産の技術」、「環境に配りよした製品づくり」、「さまざまな人の生活を支える製品づくり」、「価格が安く品質のよい製品づくり」 ○選んだ理由や根拠を書き出す。 ・シンキングツール（クラゲチャート）を用いて、理由や根拠を考える。 ・教科書や web 検索を用いて根拠となる資料を集める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを活用し、5つの項目を書いたシートを児童に送る。 ・カードを色分けしておくことで、提出箱を共有した際に、他の児童の考えとの比較をしやすくする
まとめ (12分)	○「これからの工業生産に大切なこと」を書き出した理由や根拠とともに文章にまとめる。 ○まとめたことを発表する。 ○授業を振り返り、感じたことや気づいたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が使用する検索エンジンを指定することで、出てくる情報を児童向けに精選しつつ調べ学習を行わせる。 ・資料として活用できる web サイトのリンクや、教科書のページ数などを、ヒントカードとして必要な児童に送れるようにしておく。 ・提出箱を共有し、他の児童の考えが見られるようにする。 ・文章へのまとめをロイロノートで行わせることで、クラゲチャート等で記入した言葉などを複製して使用することができ、ならべかえて言葉を組み合わせながら文章の構成を考えることができる。 ・提出箱を共有することで、発表者のカードを各児童の端末で見られるようにする。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子

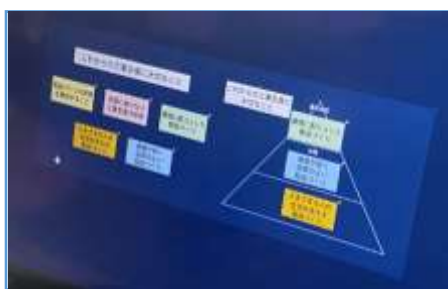


写真1：「これからの工業生産に大切なこと」を5つの項目から一つ選ぶ場面



写真2：選んだ理由や根拠を書き出す場面



写真3：書き出した理由や根拠をもとに文章にまとめる場面

児童生徒の反応や変容

- ・web 検索や教科書から得た情報と自分の思いをつなげて根拠とし、自分の考えを持つことができている児童が多く見られた。中には難しいと感じている児童もいたが、シンキングツールを活用して視点を絞ったことや、クラウド上で他の児童の意見を参考にできたことで、考えるための手立てとして活用している様子が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

資料として活用できる web サイトのリンクや、教科書のページ数などを、ヒントカードとして準備しておいたことで、必要な児童に必要なタイミングで送ることができ、個に応じた支援を行うことができた。

文章のまとめまで端末を使って行ったことで、コピーやペーストの機能を使って自分のカードに書いた言葉を使用したり、Web サイトから言葉を引用したりするなどの活動をスムーズに行うことができ、活動の時間を効率的に短縮することができた。